クラウンブリッジ補綴学講座

講座名	クラウンブリッジ補綴学講座
主任教授	関根秀志
プログラム責任者名	関根秀志，久永竜一，野本俊太郎，　四ツ谷　護， 酒井貴徳，露木　悠，黒田祥太，平野瑞穂
プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定医等の名称	日本補綴歯科学会専門医　日本歯科審美学会認定医 日本接着歯学会専門医　日本デジタル歯科学会専門医 日本口腔インプラント学会専門医

プログラムの特色

本プログラムでは、クラウンブリッジ補綴治療の根幹をなす咬合、歯科審美、接着歯学などの理論と診療技術を習得できるとともに、補綴歯科治療に関連する他領域やデジタルデンティストリーなどの最新技法や材料に精通するプログラムも企画している。日常臨床においては高い技術を有した上級医による臨床技能実技指導により、確実な基本診療技能を習得し、理論に裏打ちされた高い診療技能を有する歯科医師への一歩を踏み出すことが出来る。

プログラムの内容

入局後	大学院生	臨床専門専修科生・レジデント
1年目	・本学大学院所定の単位取得。 ・指導医の直接指導による臨床技能実技。 ・研修会（大学院報告会，講習会，勉強会，症例検討会，若手対象レクチャー等）への参加。 ・研修会発表、ケーススタディ発表、臨床実技・技工操作実技の観察記録と口頭試問および進級試験で進級判定を行う。	・指導医の直接指導による臨床技能実技。 ・研修会（講習会，勉強会，症例検討会，若手対象レクチャーなど）への参加。 ・研修会発表、ケーススタディ発表、臨床実技・技工操作実技の観察記録と口頭試問および進級試験で進級判定を行う。
2年目	・本学大学院所定の単位取得。 ・専門学会での発表。 ・上席医の指導による臨床技能実技。 ・研修会（大学院報告会，講習会，勉強会，症例検討会など）への参加および発表。 ・研修会発表の観察記録、進級試験および指導医による審議により進級判定を行う。	・上席医の指導による臨床技能実技。 ・研修会（講習会，勉強会，症例検討会など）への参加。 ・研修会発表、臨床実技・技工操作実技の観察記録と口頭試問、進級試験および指導医による審議により進級判定を行う。
3年目	・本学大学院所定の単位取得。 ・上席医の指導による臨床技能実技。 ・研修会（大学院報告会，講習会，勉強会，症例検討会など）への参加および発表。 ・日本補綴歯科学会専門医申請様式準拠の「歯科補綴学に関連する領域の疾患の治療記録」3症例の提出。 ・研修会発表の観察記録、指導医による審議により進級判定を行う。	・上席医の指導による臨床技能実技。 ・研修会（講習会，勉強会，症例検討会など）への参加および発表。 ・日本補綴歯科学会専門医申請様式準拠の「歯科補綴学に関連する領域の疾患の治療記録」3症例の提出。 ・研修会発表の観察記録、指導医による審議により進級判定を行う。
4年目	・本学大学院所定の単位取得、論文審査および最終試験の合格を修了（進級）条件とする。 ・研修会（大学院報告会，講習会，勉強会，症例検討会など）への参加および発表。 ・専門学会での発表。 ・上席医の指導による臨床技能実技。	・上席医の指導による臨床技能実技。 ・研修会（講習会，勉強会，症例検討会など）への参加および発表。 ・日本補綴歯科学会専門医（必須）、日本歯科審美学会（任意），日本接着歯学会（任意），日本全身咬合学会（任意），日本口腔インプラント学会（任意）の各認定医申請基準を満たす資料作成と学会発表。 ・指導医による審議により進級判定を行う。
5年目	・日本補綴歯科学会主催専門医多肢選択式筆記試験の合格を修了（進級）条件とする。 ・日本補綴歯科学会専門医申請様式準拠の「歯科補綴学に関連する領域の疾患の治療記録」10症例の提出と専門医申請基準を満たす資料作成（必須）。 ・日本歯科審美学会，日本接着歯学会，日本口腔インプラント学会の各認定医申請基準を満たす資料作成と学会発表（任意）。	

6年目以降	・専修科生、レジデントのみでの通算6年以上の在籍を原則認めない。 ただし、指導医の審議により必要と認められた場合はこの限りではない。 ・大学院を経た場合、学位記授与要件を満たすことで在籍できる。 この場合、評価は任意とし必修プログラムを設けない。 ・日本補綴歯科学会専門医受験資格取得 ・日本歯科審美学会認定医受験資格取得 ・日本接着歯学会専門医受験資格取得 ・日本口腔インプラント学会専門医資格取得

●本務教員で認定医等の有資格者
（指導医・専門医・認定医等の複数の資格の場合には最上位の資格のみを記載）

日本補綴歯科学会
指導医：関根秀志，野本俊太郎，四ツ谷護

日本歯科審美学会
認定医：野本俊太郎，四ツ谷護

日本接着歯学会
指導医：野本俊太郎

日本口腔インプラント学会
指導医：関根秀志